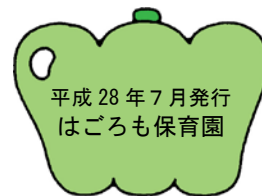




7月のほけんだより



平成 28 年 7 月 発行
はごろも 保育園

日に日に日ざしが強くなり、心弾む夏がやってきました。6月は、手足口病や嘔吐、下痢で体調を崩し欠席するお子さんがいました。夏は、暑さのために食欲がなくなったり、体力を消耗したり、身体の調子を崩しやすい時期です。健康状態には十分注意して、夏を過ごしましょう。

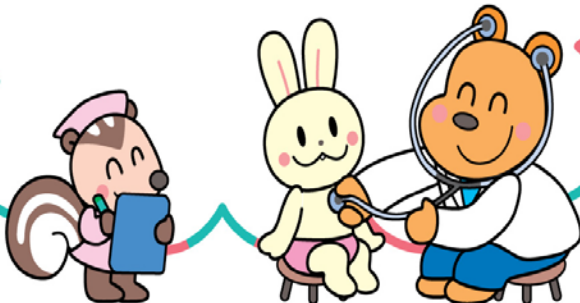
内科検診のお知らせ

本園：7月14日（木）

分園：7月21日（木）

10時から

日ごろ気づきにくい病気を早く発見したり、成長を知ったりすることは、子どもの健康を守るためにとっても大切です。医師に聞いておきたいことなどがあれば、事前に担任までお知らせください。



8月にはプール あそびがあります

プールが始まる前になおしておきましょう。

- ・皮膚病に罹っているとき
とびひ、水いぼ、湿疹、アトピー性皮膚炎がひどい場合
- ・目、耳、鼻などの病気に罹っているとき
結膜炎、ものもらい、中耳炎、外耳炎、鼻炎、蓄膿症など
- ・蟻虫検査で陽性の場合、早目に駆除剤を内服し駆除しましょう。

気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。



フェール熱

（咽頭結膜熱）

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状が出る。



手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ほうができ、熱が出ることも。



手足口病に注意しましょう

原因：コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。

症状：手のひらや足の裏、口の中に小さな水疱や赤い発疹ができる。おしりや膝、皮膚のやわらかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い熱が出ることも。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起こしたりすることがあるので、注意が必要です。

対応：一週間くらいで治る。元気があれば登園できるが、まれに髄膜炎などの合併症を起こすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う発熱がある時は、すぐに受診を。

